西九州道(仮)松浦インターの構造検討について

(パーキングエリア又はサービスエリア併設)

今後完成する、松浦インターの運用(設計)について提案を致します。現在、当該地区は観光誘致活動に弱点があり中々県外からの来訪者が低迷しています。この対策を現在工事中の「西九州道」を利用する事で一時的滞在者を含め経済面での費用対効果が生まれる質要素を持っています。例えば、梶谷城跡巡り、不老山つつじ公園探訪、魚つり、島めぐり等の経済効果も予測できます。これだけの要素を持つ西九州道全線開通前までに松浦市として準備することが必須です。(国・県・道路公社との調整・・・・議員で実施する)

それで、構想を提案いたします。この方式は主に都市部(関東近郊)の高速道で２０年程前から場所の問題(面積)から道路の高架部下のスペースを利用し、パーキングエリアの設置がしてあります。(主に首都高速等)この方式は、比較的利用者から雨天時の対応等で好評を得ています。

ここで、この方式を活用して現在ある「ふるさと館」を分館した一種のサービスエリアを併設させる事を提案します。これについては、運営管理面などの諸問題が発生します。この辺は、松浦市・長崎県・道路施設管理者等と地元地産関連者も含め協議を議員の中を中心に運営していかれる事をお願いします。

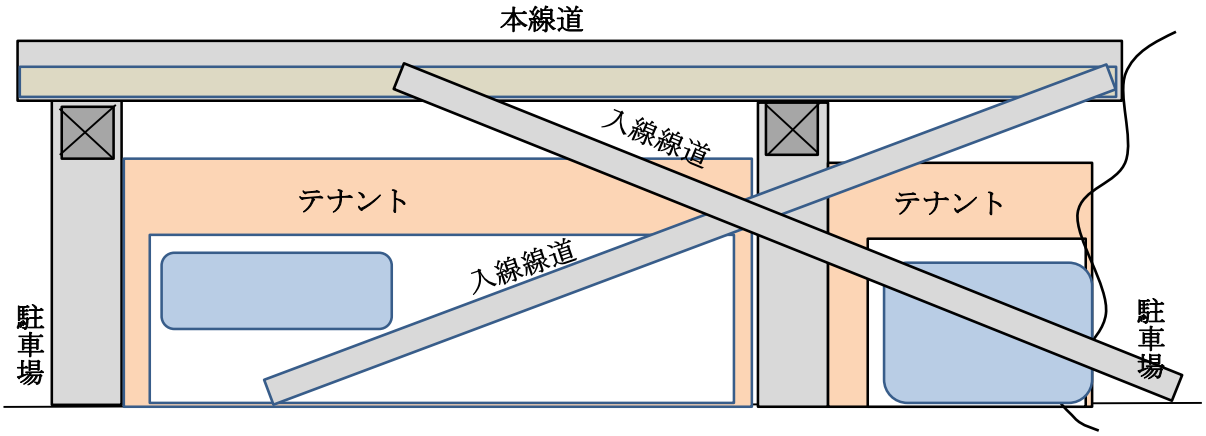
追記)　技術面から上下線進入・出口誘導路の構造に複雑性を持つ可能性が予測されますのでこの辺の対策解消にも反映できると考えます。

(参考事例)福岡県糸島市の「みちのお駅」が高速出入口を利用して有名になる。

令和　４年　６月　１日

(提案者)　永　田　　弘
前)調川町下免区長

（概略図）



【首都高速湾岸線】　市川パーキング(高架下)

